

答え合わせ・解説

問1	答え 1 択捉島	日本の領土の北の端は、北方領土を構成する島々の一つである択捉島です。北方領土には択捉島のほかに、国後島、色丹島、歯舞群島が含まれますが、この中で最も北東、かつ緯度が高い場所に位置しているのが択捉島であり、日本の主権が及ぶ範囲の北限となっています。
問2	答え 1 排他的経済水域	沿岸国が水産資源や鉱物資源の探査・開発、および保全について独占的な権利を持つ海域のことを排他的経済水域（EEZ）と呼びます。この範囲は海岸線（領海基線）から200海里と決められており、日本の国土面積は約38万平方キロメートルですが、この水域を含めると世界有数の広さを持つ海洋国家となります。
問3	答え 1 択捉島	日本の領土の北端は、北海道の北東に位置する北方領土の一つである択捉島です。北海道の本島にある宗谷岬（稚内市）よりもさらに北に位置しています。なお、東端は南鳥島、西端は与那国島、南端は沖ノ鳥島であり、これら四端の名称と位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問4	答え 1 オーストラリアは日本と経度の範囲で重なる部分があるが、南半球に位置するため緯度の範囲は重ならない。	緯度は赤道を0度として南北の位（北緯・南緯）を示し、経度はイギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度として東西の位（東経・西経）を示します。日本は北半球・東経の範囲に位置します。オーストラリアは東経の範囲にありますが南半球に位置するため、緯度範囲が重なることはありません。アメリカ合衆国は緯度は重なりますが西経の国であり、ブラジルは南半球かつ西経、イランは東経ですが日本より西側にあり緯度も異なります。
問5	答え 1 標高の高いC地点から徐々に標高が下がり、途中で緩やかな傾斜地を経て、最も標高の低い湖面に達する形状	地形断面図は、地形図上の等高線から各地点の標高を読み取り、垂直方向の変化をグラフ化したものです。山頂（C地点）から湖岸（D地点）に向かう場合、地形は基本的に下り傾斜となります。等高線の間隔が広がっている部分は傾斜が緩やかであることを示しており、これらを連続的に結ぶことで、山頂から緩斜面を経て湖に至る地形の輪郭が描かれます。
問6	答え 3 東経154度	日本の最東端は東京都に属する南鳥島で、その経度はおよそ誤答選択肢にある東経123度は最西端の与那国島、東経135度は兵庫県明石市などを通る日本標準時子午線の経度です。なお、西経はグリニッジ天文台より西側の経度であり、日本の位置とは異なります。
問7	答え 1 択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島	北方領土は、北東から順に択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島で構成されています。礼文島は北海道の北にある別の島であり、尖閣諸島は東シナ海に位置する沖縄県の島であるため、北方領土の構成には含まれません。
問8	答え 1 領海の外側から200海里までの範囲を指し、沿岸国は水産資源を管理する権利を持つが、他国の船の航行を禁止することはできない。	排他的経済水域は、資源に関する独占的な権利を認める一方で、他国の船の航行や航空機の飛行については、領海とは異なり原則として自由が認められています。そのため、他国の船舶がこの水域を通過すること自体を禁止することはできません。日本にとってこの水域は、漁業の維持や海底資源の確保といった経済的側面で極めて重要な意味を持っています。
問9	答え 1 北方領土の中で最も北東に位置し、その面積は北方四島全体の約半分を占めるほど広大である。	択捉島は北方領土の4島の中で最も北東に位置し、その面積は約3,184平方キロメートルと、北方四島全体の総面積の約6割を占めています。これは日本の島の中で本州、北海道、九州、四国に次ぐ大きさです。他の選択肢については、根室半島に近いのは歯舞群島、知床半島と向かい合っているのは国後島、択捉島より南にあるのは国後島・色丹島・歯舞群島の説明にあたります。
問10	答え 2 排他的経済水域	国連海洋法条約によって定められた制度で、沿岸国にはその水域内の生物資源（魚など）や非生物資源（石油や天然ガスなど）を調査、開発、保存、管理する権利が認められています。領海が沿岸から12海里までであるのに対し、この水域は200海里まで設定することができます。